

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	高知県宿毛市	学校名	宿毛市立東中学校		
人権課題	①子ども	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・総合的な学習の時間・特別活動	時数等	6時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育を行うことで、自己を尊重し、他者を尊重しながら学校生活を送り、自立的かつ健全に成長するための基盤を養う。</li> <li>・他者とのコミュニケーションを通じて共感したり、意見を尊重したり、異なる意見を出し合うことで、他者に対して思いやりを持ち、共に助け合うことができる生徒を育成する。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者のよさを見つけ、それを相手に伝える活動や、お互いのよさを認め合いながら、関わるような活動を行った。</li> <li>・生徒の良い所を認め、自己肯定感を上げるために、生徒面談を学校全体で行った。</li> <li>・地域との交流を行い、自分たちの学習が認められる場面を作った。</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を図るために、地域の慣習や文化を尊重しながら、共通の人権の理解をひろげるために、フィールドワークなどを行った。</li> <li>・他者の意見に耳を傾けたり、他者のよさを見つける活動を通して、異なる視点を尊重できるような取組を行った。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

社会科として、子どもの権利条約などについて学習した。  
家庭科として、保育実習などを行った。

## 事業成果

- 知識的側面：「子どもの人権に関する概念や法的な側面について理解を深め、議論など積極的に行うことができる」
- ・他者を尊重するために、お互いの意見を取り入れながら、より良い方法を見いだすことができた。
  - ・子どもの人権について理解を深め、意見を出し合うなど積極的な学習を行うことができた。
- 価値・態度的側面：「人権学習に対して真剣に取り組み、異なる意見や視点を尊重しながら意見を交換することができる」
- ・多面的、多角的な視点で自分たちを振り返り、個々の良さを見いだしながら取り組むことができた。
  - ・地域との関わりを通して、色々な意見に触れることで、自分たちの活動が認められ、自己肯定感を高めることができた。
- 技能的側面：「人権に関する倫理観や価値観を深く学習することで、独自の視点からの解決策を提案し、他者の意見を尊重する姿勢がみられる」
- ・教員や地域の人から肯定的意見を受けることで、自分では見つけることができなかった自分の良さを見だし、生活することができた。
  - ・自分たちで解決策を見つけ出す活動を通して、自分の意見が認められたり、他者の良さを見つけ出すことができた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	高知県宿毛市	学校名	宿毛市立東中学校		
人権課題	③高齢者	対象学年・ 取り扱った教科等	2年生・総合的な学習の時間	時数等	10時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の人権について学習することで、基本的な人権を尊重することの大切さを理解し、虐待や差別について疑問を持ちながら、取り組むことができる生徒を育成する。</li> <li>・高齢者との対話を通して、高齢者への理解を深め、高齢者が尊重された社会を築くために自分ができることを考えられる生徒の育成を行う。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークを行い、地域の人たちから、高齢者に対してどのようなことを配慮しながら取り組んでいるのか話を伺うことで、地域の人々の思いに触れながら、自分たちに何ができるのか考えながら学習を深めていた。</li> <li>・高齢者の方にインタビューを行い、高齢者が抱えている悩みなどを聞き取り、高齢者が抱えている不安などを解消するためにできることは何か考えながら学習に取り組めた。</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と関わる場面を作るため、百歳体操などに足を運び、インタビューなどを行った。</li> <li>・実際に医療や介護などを運営している場所に行き、関係者の話を伺うなどしながら、高齢者差別についてどのように取り組んできたのか話を伺った。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

家庭科として、核家族などについて学習した。

## 事業成果

- 知識的側面：「高齢者の人権に関する基本的な知識や高齢者の権利、課題について理解を深め、高齢者の権利がどのように守られるべきか理解できる」
  - ・差別に対して、地域がどのような対策をしているのか知ることで、差別に対してどのように地域が関わって来たのか知ることができた。
  - ・高齢者の権利や、課題について理解を深めるために、実際に高齢者の方から話を伺うなど行動することができた。
- 価値・態度的側面：「高齢者に対する理解を深めるために、意見を出し合いながら、高齢者が差別されないためになにをすべきか考えることができる」
  - ・高齢者の方と関わることで、高齢者とどのように関わればよいか考え、お互いを尊重しながら生活することの大切さを知ることができた。
  - ・高齢者への差別をなくすために、自分にできることを考え、計画を立てることができた。
- 技能的側面：「高齢者との関わりにおいて他者を尊重し、助け合うことの大切さを理解している」
  - ・高齢者の方から話を伺うことで、高齢者の方の困り感を知り、自分たちがどのように関わっていくべきか考えることができた。
  - ・高齢者の方へのインタビューなどを通して、高齢者の実態に配慮しながら関わることの必要性を知り、互いに助け合いながら生活することの大切さを知ることができた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	高知県宿毛市		学校名	宿毛市立東中学校	
人権課題	④障がい者	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・総合的な学習の時間・特別活動	時数等	7時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の人権について学習することで、障がい者が尊重され、障害の有無関係なく、全ての人が同じ人権を持っているということを理解し、守るべきものだという精神を培う。</li> <li>・障がい者差別のない社会を実現するためには、障がい者への理解が必要であることに気が付き、手を差し伸べることができる生徒の育成を行う。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者理解のために特別支援学級の担任が情緒や知的障害についての講話を行った。</li> <li>・障がいのある生徒も活躍することができるような特別活動や、各教科の取組を行った。</li> <li>・安全に配慮しながら、学級全員で取り組めるものを企画し、取り組んだ。</li> <li>・障がいがある人にも配慮できるような避難所受付シートを作成した。</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者理解のため、特別支援学級の担任が、各障がいの特性について新入生を対象に講話を行った。</li> <li>・障がいがある人もない人もみんなが一致団結して取り組めるような、学級経営を行った。</li> <li>・学校行事では、誰もが参加できるような内容を学級で考えた。</li> <li>・避難所受付シートを作成し、実際にどのような課題があるのかデモンストレーションを行った。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

保健体育科として、バリアフリーなどについて学習した。

## 事業成果

- 知識的側面：「障がい者の人権に関する基本的な権利、課題について理解を深めることができる」
- ・多様性のある社会の実現のために、様々な障がいについて知り、障がい者の権利について理解を深めることができた。
  - ・障がい者に関する情報を正確に理解し、障がい者の権利がどのように守られるべきか理解できた。
- 価値・態度的側面：「他者との協力や意見交換が円滑に行われ、障がいの有無に関わらず協力的な態度で生活できる」
- ・学級での話し合いなどで、障がいの有無関係なく意見を出し合い、個々の状態に応じた対応をすることができた。
- 技能的側面：「障がい者との関わりにおいて他者を尊重し、共感し、お互いが共生できるように自らができることについて考えることができる」
- ・障がい者と関わっていく中で、共感しながら生活し、他者を認め合いながら生活することができた。
  - ・障がい者と共に暮らしていくために、自分になにができるのか考え、障がい者の権利を尊重しながら行動することができる。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

高知県宿毛市

学校名

宿毛市立東中学校

人権課題

⑤同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

時数等

10時間

目標・人権教育のねらい

- ・同和問題について歴史的背景など正しく知り、自分事として捉えることで、差別のない平等な社会を実現できる生徒を育成する。
- ・当事者の方から話を聞くことを通して、差別を受けてきた人の思いに触れ、自分たちに何ができるのか考え、行動できる生徒を育成する。

実施した内容

- ・当事者の方から話を聞き、調べてもわからなかったことを知り、まとめることができた。
- ・当事者の方に当時の状況についてお話を伺うことで、当時の人の思いに触れ、その思いを継承するために自分たちがどうすればいいのか考えることができた。
- ・全学年、同和問題学習を行い、同和問題に特化した学習を行うことで、人権学習にスムーズに取り組むことができた。
- ・結婚差別について話を聞くことで、差別の実態について知り、その非情さを伝えることで、差別がなくなるということに気がつくことができた。

工夫した点

(指導上の工夫)

- ・子どもたちの学習の進捗状況を見ながら、当事者の方から伺った話を、どう生かすのかについて、具体的な助言を行った。
- ・当時の人がどのような思いで差別に立ち向かったのか、調べてもわからないことを質問できるように準備を行った。
- ・同和問題について正しく知るために、教員が事前に学習を行い、授業に取り組んだ。

## 令和 5 年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

社会科にて、全国水平社や解放令について学習した。

事業成果

- 知識的側面：「同和問題に関する基本的な事実や歴史的背景、法的枠組みについて理解している」
  - ・ 同和問題の歴史について理解し、差別に立ち向かっていった人の思いに気付いてる。
  - ・ 同和問題を無くすために国がどのような取組を行ったのか把握し、その取組によって地域がどのように発展したのか理解できている。
- 価値・態度的側面：「同和問題への理解を深めるために、他の生徒と協力し、異なる意見や視点を受け入れる態度がみられる」
  - ・ 同和問題を無くすために、自分になにができるのか考え、実践しながら差別をなくそうと行動する姿が見られた。
  - ・ 同和問題について意見を出し合いながら、多面的な視点で学習を深め、理解を深めることができた。
- 技能的側面：「同和問題に関する具体的な状況に対する解決策や提案を考え、的確に掲示できる」
  - ・ 同和問題を解決させるために、インターネットなどを使って、正しい情報を発信することができた。
  - ・ 同和問題をより具体的に学習していくために、当事者の方の話を聞きながら、自分たちができることを考え提案することができた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	高知県宿毛市		学校名	宿毛市立東中学校	
人権課題	⑦外国人	対象学年・ 取り扱った教科等	2年生・総合的な学習の時間		時数等 10時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人々がともに尊重し合い、協力して生活するために必要な異文化の理解や対話などを行い、地域に在住している外国人の思いにふれながら、誰にでも公平に接することができる生徒を育成する。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人雇用について、市役所の担当者から話を聞き取ることで、地域と外国人の関わりについて知ることができ、それをまとめながらさらに知りたいことを見つけ出すことができた。</li> <li>地域の企業に行き、外国人雇用について質問を行うことで、企業の取組などを知り、どのような工夫がされているのか知ることができた。</li> <li>地域の企業に就職している外国人にアンケートを行うことで、外国人が困っていることに視点をあて、その課題解決に向けて自分たちができることを考えることができた。</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習を行っている中で、わからなかったことを質問紙にまとめ、市役所の担当者から話を伺えるように取り組んだ。</li> <li>生徒の学習の中で、疑問に思ったことを、地域の企業に実際に出向いて話を聞けるような体制をとった。</li> <li>ファックスなどで質問紙を送り、外国人の声を聞けるようにした。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

英語科として、宿毛市について外国人に説明できるような学習を行った。  
音楽科として、諸外国の音楽について差別に立ち向かった作曲家について学習を行った。

## 事業成果

- 知識的側面：「異なる文化や出身地による差別が存在することを理解し、それに対する人権の観点からの重要性について理解できる」
- ・宿毛市に住む外国人のことに對して、市役所などの関係機関と連携し、外国人の現状について知ることができた。
  - ・外国人の差別について探究学習を行うことで、外国人が抱えている課題について考え、そこに差別的なものがあることを知ることができた。
- 価値・態度的側面：「外国人に対する差別や偏見が存在することを理解し、差別に対する反感を示し、平等な社会の構築をしようとしている」
- ・外国人にアンケートなどを行い、実際に外国人がどのような不自由を強いられているか調査することで、外国人の思いを知ることができた。
  - ・差別のない平等な社会にするために、自分たちになにができるのか考え、実行するためのプロセスを立てることができた。
- 技能的側面：「外国人への差別に関する情報を効果的に収集し、それを的確に発信しながら、啓発活動を行うことができる」
- ・外国人が地域に来ても困らないように、外国語のパンフレットの作成しようとする姿勢を見ることができた。
  - ・自分たちが調べたことを的確にまとめ発表することで、学校全体に啓発活動をすることができた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	高知県宿毛市	学校名	宿毛市立東中学校		
人権課題	⑪インターネット による人権侵害	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・保健体育	時数等	6時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを安全かつ適切に利用するために必要なデジタルリテラシーを身につけ、正しい情報や価値観を広めながら、差別的な行動をとらず、人権を尊重しながらインターネットを活用できる生徒を育成する。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル教室を開き、全校生徒へインターネットの安全かつ適切に利用するためのデジタルリテラシーについて講話を行った。</li> <li>・インターネットによる誹謗中傷や差別的な書き込みなど、特設の時間を使って学習した。</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人が理解できるように、リモートを用いた対話型の講義を行い、外部講師を招聘した。</li> <li>・特設の時間で、全校でのインターネットの差別的な書き込みについて考える時間を作り、自分事として考え、行動できるように促した。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

技術科でデジタルリテラシーなどの学習を行った。  
特設の時間で、インターネットの差別について学習を行った。

## 事業成果

- 知識的側面：「インターネットによる人権問題に関する基本的な知識を効果的に収集し、理解することができる」
  - ・学習を通して、インターネットを利用した嫌がらせや差別的な発言が、攻撃された人の人権を侵害することを理解できた。
- 価値・態度的側面：「他者の尊重やプライバシーの重要性について深く考え、デジタル空間における倫理的な行動の重要性を理解できる」
  - ・インターネットの利用に対して、自分がどのような態度でインターネットと関わればいいのか振り返り、考えることができた。
  - ・インターネットの利用をする上で、他者の気持ちを考えながら利用することの重要性について気がつくことができた。
- 技能的側面：「他者を尊重し、異なる意見やバックグラウンドを理解し、差別的な行動に立ち向かうことができる」
  - ・インターネットの利用に対する講話など、様々な学習を通して、デジタルリテラシーを高めることができた。
  - ・差別的な投稿や発言などをインターネット上で見つけたら、それが差別であることに気がつき、的確に対応しようとする態度を養うことができた。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	高知県宿毛市	学校名	宿毛市立東中学校
人権課題	⑭災害と人権	対象学年・ 取り扱った教科等	2年生・総合的な学習の時間 時数等 10時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が発生した場合においても、全ての人々が基本的な人権を持っていることを理解し、互いに尊重し合う意識を育成する。</li> <li>・災害時においても地域の一員として協力し合う意識を高める。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を行う中で疑問に思ったことについて、関係機関に話を聞きに、フィールドワークを行った。</li> <li>・生徒が主体となって避難所の受付シートを作成した。</li> </ul>		
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛市役所と連絡を取り、災害への対策や、人権問題についてどのような対応しているのか聞くことができた。</li> <li>・学習していく中で、生徒の気づきから学びを探究し、災害時の人権問題を考えながら学習を進めることができるように助言を行った。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

社会科として、震災について学習を行った。  
修学旅行で、阪神淡路大震災について学習を行った。

## 事業成果

- 知識的側面：「災害の種類や発生原因、災害における人権の侵害に対する理解が進み、知識が実際の状況へ適用ができる」
  - ・災害が引き起こす様々な影響が、どのように人権の侵害に関連しているのか理解できた。
  - ・学習した知識が、実際の状況に適用できるようにシュミレーションを行いながら取り組むことができた。
  
- 価値・態度的側面：「フィールドワークなどを通して、災害時の倫理的な側面や価値観について深く考えることができる」
  - ・自分たちが災害にあっても、人権を守る立場であるということを理解し、行動することができる。
  - ・フィールドワークを行い、色々な知識を得ることで、災害時の人権についてどのように対応すればよいのか考えることができた。
  
- 技能的側面：「災害時における人権侵害への対策や支援策を独自の視点で考え、行動することができる」
  - ・どのような人権侵害があるのか考え、調べながら、対策や支援策を考え、取り組むことができた。
  - ・避難所の受付シートを作成し、避難所を運営する際にどのような人権問題があるのか考え、対策を考えることができた。